（大正十四年十二月二十二日第三種郵便物認可）

昭和十五年十二月十一日　磐城毎日新聞　第五千九百九十三號

十日夕刊

磐城毎日新聞

□定價　一部　金六錢　月極　金一圓五十錢　□廣告料　一行　金六十錢　□廣告料　一行　金九十錢　□廣告料　一行　金一圓　□電話　一七八二番　一八五六五　福島縣平市三町目十六番地　發行所　磐城毎日新聞社　發行編輯兼印刷人　岡田弘成

吟情月旦〔中〕

―青鼠集佳作評―

村上梅信

朝寢懶く日の當る蚊帳田
出たり　秋田苅穂

評、早起は三文の德とまで格言られて之を奬勵してゐるほどに爽快であり、健康上にも亦結構なのであるが、時に又天地萬象發測として起出づる朝の大自然のいときを、じつと心耳にして幻影の陶醉にある朝寢も亦惡くないものである。處かこの句はものうく蚊帳を出る朝寢の情緒である。それはあゝ、朝も闌たる七時過か、既に中天へ光濃陽は蚊帳を一杯に透西壁照りる室内の光彩は殿たび以上の懶い氣分であるたであゝ、サテ氣を體操參加して朝の快氣に戻下さい。

歸り來れば夕餉の匂ひ雷遠　郷中藤門

評、雷鳴の中も厭はず職場疲勞の軀を驅家庭食卓の愉しみに急かするの境が句を透てある。それは座五の雷遠の季語よく效いてゐる。然も中七「夕餉の匂ひ」が上五座五の境地を活かして餘りある詠出ある、即ち夕餉の詞は上五の歸宅時刻が退廳時であるを示し「匂ひ」は雷雨上らんとする厨に家婦が主人を迎へいそ〳〵と夕餉の支度にある匂ひとも感られ、或は既に主人の歸刻を待つし食卓が調へられてあつたとも見られ座五の雷遠は上五の歸路の最中は雷雨烈しかつたことを過去とした表現であるからである、一糸亂れなき詠歌をしゝねる。

病葉のますぐに落ちる水へ落つる　稻垣黃柑

評、些の技巧も弄しがい詠

技巧作家かも見れば何處に甘味があかと云ふでもあろう、その甘味とは即ち技巧である、此句を心靜かに吟誦し、眞寄に繁茂するもろ葉の中かたづきにある一板の葉靜かにぬ出てハラハラと落ちて來る無風情態と、そしてその病葉が行く還らぬ流水の上に落つる風情と環境とを。自己體驗と季語を佳とする。

○緑森に遊ぶ童の聲聞こゆ喜び

○兄の子のとりこばかふ

○兄の子の猫のつゝはりが

○六

○遠雷の鳴るよとみれやおは

○陽

○黑雲のかげ

をりをりの歌　平　藤秀政

○兄の子の猫のつゝはりが怪獸ものみば

○六月上の髮はかなしう

○遠雷の鳴るよとみれやおは

○陽の黑雲のかげ

〔77〕

連續講談　異說赤穗浪士

別題『義士赤穗義士』『赤穗誠忠記』

桃川若燕　木村喬

六人斬りの腕前と脳天か斬りつけ、ブツリと美事止めの一刀がて菅野の死骸を抱き起して

『祖父上　敵は悉く斬つてゐる。捨てゝしまひました。お爲ひ下る様』

と云ふ下から通はずホロリと涙をぼしに當時の事を書いたものゝ中には六郎右衛門はまこと息があつたとしてあるものもある。

その一背後で

『中山氏お手柄でござる。大晴れであつた』

『中山氏、一寸お待ちなさい……弦之は話もあり來ぬ、お手間は取らせぬ、御遠慮で茶店までお出でるまいか』

『イヤ何かは存せぬが拙者は御免を被りたく……』

『イヤお手間は取らせぬ、ホンの僅かでござる』

『然らばこれにて仰せ聞わ』

『されば他でもなく我等に一人の娘がござる、ところで中山氏は御次男であらせられるさうだが』

『如何にも拙者には兄姉と弟妹の兄があり、家を相續致し、拙者は殿樣御勘氣を被り、浪人を致し居る冷飯で

『何んと物は相談だが、中山氏、拙者の娘の養子になるお心はござるまいか』

『アヤ中山氏、よく仇討をして下さいた、拙者は子どもしお差づがしうござる』

『これは〳〵彦市殿、此度の心中お察し申し上げます』

と指差されてバラ〳〵、死体の傍ちに驅け寄ると、彦市は父の死体を抱き起し頻りに歎いてゐるだがやがて安兵衛に促されて乘物に屍骸を委せ屋敷に立ち歸つて行く

安兵衛は

『さて武林氏　堀部氏今日はれにてお暇を致す、又近日御意を得申す』

と行かうとすると堀部が

『アイヤ中山氏、一寸お待

兵衛を見ると馳せ寄り

『ヤア中山氏、よく仇討をして下さいた、拙者は子どもしお差づがしうござる』

『これは〳〵彦市殿、此度の心中お察し申し上げます』

と指差されてバラ〳〵、死体の傍ちに驅け寄ると、彦市は父の死体を抱き起し頻りに歎いてゐるだがやがて安兵衛に促されて乘物に屍骸を委せ屋敷に立ち歸つて行く

安兵衛は

『さて武林氏　堀部氏今日はれにてお暇を致す、又近日御意を得申す』

と行かうとすると堀部が

『アイヤ中山氏、一寸お待ちなさい……弦之は話もあり來ぬ、お手間は取らせぬ、御遠慮で茶店までお出でるまいか』

『イヤ何かは存せぬが拙者は御免を被りたく……』

『イヤお手間は取らせぬ、ホンの僅かでござる』

『然らばこれにて仰せ聞わ』

『されば他でもなく我等に一人の娘がござる、ところで中山氏は御次男であらせられるさうだが』

『如何にも拙者には兄姉と弟妹の兄があり、家を相續致し、拙者は殿樣御勘氣を被り、浪人を致し居る冷飯で

『何んと物は相談だが、中山氏、拙者の娘の養子になるお心はござるまいか』

安兵衛驚いた。飛んだ所で緣談だ。

『イヤ御厚情は辱けないが他性を識ぐやうな事は決し致さん』

『イヤ、御貴殿の御氣樣、さう仰せられるは御尤もでござる、實にお見上げ申しにおゝさうなくしはならん拙者も實は然うなうと思ってゐる』

何さ云つてゐるのだが譯が分らな。

おでんと　ヤキトリ　田町末廣トナリ

一柳

コーライト
炭・豆炭・コークス　代用燃料
菱コーライト
御奬メ申上マス
特長……火力强ク火持チヨク、木炭ノ半値
御使用ハ御家庭用ノコンロ、火鉢、鍛治用
一俵（五〇キロ）カラ配達致シマスドウゾ御注文ドサイ。
昭和十五年六月
平市田町二
阿部石炭商店
電話一三七番

ミシン洋裁
ミシン界の王座
陸軍省御用達
商工省撰定
滿州御指定
純國產ノ權威
アサヒ　ミシン
ニツポン　ミシン
ニツサン　ミシン
パイン　ミシン
シンガー　ミシン
現金、月賦、敎授
型錄無代進呈
◎中古高價買入
平市田町
シンガーミシン商會

外科、婦人科、臟外科
エツキス光線科
平市
齊安徹
入院隨意
安齊醫院
電話四七五番

四邊一ぱいに漂ふ
秋色を！
お賞で下さい。
鐵道指定旅館
割烹　小瀧
電話小名濱一〇三

開業
內臟外科
整形外科
平市大町二番地
內木外科醫院
醫學博士　內木宗八
入院隨時

鑑定項目
命運の代一てみの鑑名
……るかわもてん例
体力　肉体　疾病
活動　職業　天運
血緣　家族運　男女緣
（健康、不健康、相續、病根病勢、病名、醫療、切）
（適業、不適業、成功、不成功、天運、厄）に關する一切
（夫婦の緣、子供の緣、有無、氣質、相性、相尅、親有位に關する一切）
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
鵜沼孝昌
平市紺屋町　三六

肋膜。氣管支。關節。神經痛。肺炎。ロイマチス
扁桃腺。中耳炎。骨膜腰痛。ち疾に
漢方貼藥　生公華
濕布で名藥
藥二圓五十錢　四圓　八圓
平市五丁目角
店專賣　山野邊藥局

耳鼻咽喉科
增田醫院
醫學博士　增田之
◎入院應需
平市紺屋町（電六五一）

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士松村亨
平市町南　松村醫院外科部

一角
乙ふ
勇ん
おでん
味噌
平三田心流

素の節
專賣特許105912號
榮養に富み
―最も經濟的な
△△△△△
台所に必要の
「調味料」
二五〇瓦入定價六十八錢
◇味と榮養價値　味は鰹節と變りなくヴイタミン、カルシューム、沃度を多量に含んだ榮養味
◇原料　新鮮な鰹の骨肉共に粉末にしたものに海草類を加へ、完全に脫脂精製したもので風味最も佳良な調味料
◇用途　鰹節や削り節の代用品とし、又は味の素の代用も可
◇經濟的價値　鰹節三圓に對し十五錢の割合（保存五年保證）
煎子一圓三、四十錢に對し十五錢の割合で充分足る
◇主なる納品先　日本赤十字社。陸軍傷行者陸海軍々需部其の他
發賣元　平市高丘治町
佐藤陽侍商店
店　平市田町
菅野商店

重田眼科
眼科專門
眼鏡檢定
平　重田醫院

稻荷丸　皇漢オルモン藥
◆腹痛……には三粒デキキマス
◆胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキ、マス
◆小兒の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康となる
◆心臟病……少しの運動にもイキ切れドウキの高い方御實驗下さい
◆自動車醉……ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
◆肺炎……一粒腹中に入れば心臟を强め精力活力を增加す
キ　キ　メ
定價　百才五粒—五十錢　二百七拾粒—壹圓　五百五拾粒—五圓
茨城縣笠間町（稻荷神社前）
イナリ丸本舗　金子製藥所
代理店—
平市吉銀治町一〇（縣社下）（有名藥局）
阿康藥局
電話四十四話
振替東京三〇〇六五番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話六一三番）
「入院のお需めに應ず」
（看護婦及び見習看護婦募集）
藤田女學校前
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

擴築成る 小名濱商港

百八十萬圓・三年繼續

大藏省の第三次査定に於て辛くも通過を見た縣案の小名濱商港修築費は三ケ年繼續事業とし總工費百八十四萬圓第一年度(明年)六十萬圓計上され、「今十日の閣議で正式決定を見る筈である、內務省側當初の設計は三百萬圓であるから百二十萬圓の削減を見たことになり商港完成末しの觀あるも時局下の豫算から全國港灣土木費中優先的に認られたことは大成功である、今後は削られた豫算を如何に有効に商港擴築に使用するかにあり、內務省の變更される設計に注目を拂はれてゐる

その夜の港都 歡喜のるつぼ

役場は全戸へ報配

小名濱商港擴張費大藏省を通過の吉報は九日午後一時頃上京中の陳情團より電話があり この快報に接した小名濱役場では午後七時から貸切り自動車に鈴の音も勇ましく喜色滿面の吏員を乘せ、聲も渴れよと全町民に「商港擴築費大藏省通過」の吉報をメガホンで傳へる一方

豫算は大藏省議に於て査定され實現の第一歩に入る、右報告す

と印刷した特報を全戸に配布その夜の港都は歡喜の坩堝と化した

滯京中の陳情團からは相次いで役場へ電話情報が齎らされ、これを受ける留守居の高木助役の顏は回を重ねる毎に明らかになり、小名濱町はお盆と正月が一度に來たやうな賑やかさである

町民に告ぐ

小名濱商港擴張、災害防止工事十六年度よりの繼續費

昭和十四年十月三十日から今年九月三十日まで一ケ年間に於ける石城、平の消酒消費量は別項の如く一萬三千八十九石でこれを全戸數四萬六千九百八十八戸に割當てると一戸當り三斗四升七合宛になり、更に全人口二十四萬千八百人に割當てると當才の赤ん坊まで六升七合宛呑んだことになり全体的に見ると驚くべき數量に上つてゐる

一年の平均消費量 一戸三斗四升七合

赤ん坊も六升七合呑む

新酒の藏出しから 酒の不安一掃

本年醸造高九、四七四石

平稅務署では管內酒造製業者から報告された配給計劃に基き十五酒造年度の新酒藏出しの調査を急いでゐたが漸やく完了、前年藏出しの實績に對し八割を限度として新酒の藏出しを許可した爲、今月の中旬以降から持ち越しの古酒と共に新酒の二本立で市場へ流れ込み毎月の初めには酒屋から姿を消してゐた酒も漸やく豐富になり新春から酒切れの心配は解消することに成つた

本年度新酒醸造豫想高は管內で九千四百七十四石で前年に比較すると豫想高に於て二百六十三石、實際はこれより相當增石に成つてゐるので前年度に比較すると一千石位增石されてゐるものと見られてゐる

十四酒造年度(前年)の醸造數量は九千二百十一石で持越し五千二百七十七石、移入高二千八百五十二石、合計一萬七千三百六十石に對し石城郡と平市の消費高一萬三千八十九石、移出高千八百三十七石で差引現在殘つてゐる古酒の數量は三千六百五十五石であつてこれに約三千石の移入酒と新酒九千四百七十四石を加へた計一萬七千百二十九石が十五酒造年度の消費量に充てられることになり、前年と殆んど大差無いものと見られてゐる

平第五校建設案

學區編成方針で決定

注目される事務委員會の態度

平市は明年度に於て平商業學校五教室場築（本年度の增學級に依る）と第三小學校新築問題がある爲學務課では教學區編成案をめぐつて豫算の編成に頭を惱ましてゐる

第五小學校は縣立工業學校建設を先決條件とした爲埋立中の南方豫定地を工業學校の敷地に轉換し學區の分布狀態を參酌して北部（鐵道以北）に建設することに學務委員會に附し承認を得てゐる爲敷地の位置決定が殘されてゐるだけである

然し平市將來の學區分布狀態を考慮に容れて第一、第二兩小學校併合問題があり、敎學區の編成如何に依つては第五校を十二學級尋常科に止めるか、乃至は十八學級として高等科を含む大小學校たらしむるかに決定されるので第五小學校の建設案は市敎育界から刮目されてゐる、右について平市伊藤助役は語る

第五校を明年度に於て建設し十七年度に開校することは既定の事實だが敎學區をどう編成するかに依つて規模が變つて來る爲愼重審議を要する重大問題で何れ學校側の意見聞き學務委員會に圖つた上で善處する考へである

上好間炭礦着炭

全山に凱歌

年産十萬トンが目標

石城郡好間村大字上好間所在石坂義輝氏）年産十萬トンを目標に今年二月起工以來燃料の上好間炭礦（經營主仙台市

國婦と警防團で 授産場資金運動

平授産場建設資金造成の爲既報の如く虎造、綾太郎、椿鶯等浪曲界の第一人者を招くことになつたが、助成會側では市國婦分會並に警防團に對し應援を求めて來た爲國婦では

舞踊會の收入 百九圓寄附

去る八日公會堂で開催した花柳門下生主催出征遺家族慰問と平授産場資金造成の舞踊會は豫想以上の盛況振りで入場者の投入した寄附金百九圓はそつくり授産所の基金に寄附した

田人組合村 四ケ村合併

記念事業で明春實現

石城郡田人村組合村では縣當局の勸奬に基き聖紀の記念事業として

田人、貝泊　荷路夫、石住

の四ケ村を合併〃田人村〃と改稱することに決定

近く縣へ申請書提出明春一月中に合併實施される模樣である

平奉公會寄附

久保町大竹榮一さん

平市久保町大竹榮一さんは祖父國五郎さんの遺志に依り九日平銃後奉公會へ三十圓寄附した

新春明朗譜

酒は〃潤澤〃の報に『取締り陣』異狀

元旦の奉公日變更か？

興亞奉公日を事變記念日の七日に變更すべしの聲は全國に滿ち翼賛會指導部も奉公日問題を第一に取りあげ七日に變更する空氣が相當濃厚な爲、新春の元旦がどう定められるか觀心を向けられ、何れにせよ三日頃まで畫酒も許されるらしいから毎月一回に休んで來た享樂業者は元旦に開業して七日の奉公日に休業するやう變更されるか？暮れを近くに控へ盛んに氣を揉んでゐる

清酒が公定値を大巾の引き下げに遭つた關係からか、月の初めには卸と小賣店を問はず市場から酒が姿を消し、晩酌に有りつけぬ上戸黨は馴染みの料理店からお銚子一本位分けて貰ひ辛ふじて一日の勞をなぐさむるやう幾月かを送つた爲折角享樂方面が緩和されて『明らかな正月を迎へるやう……』と翼賛會指導部邊りが親心を出しても〃酒無しゞでは結局『しめつぽい元旦になるだらう』と上戸連來る歳に尠なからず不安を抱いてゐたが、稅務署からストップを命ぜられてゐた新酒も年度賃積の八割を限度に藏出しを許され、今月中旬頃から新酒がドツト市場に現はれ、持越し品も多量にあるから『歳末から年始にかけて酒の洪水にならねばよいが…』稅務署側ではとんだ心配をして居り、上戸黨の不安は忽ち一掃『元旦萬歳』と云ふところは實業界に入ることになり、辞表を提出した

同敎諭は平商業學校へ奉職して以來二十一年、校舍及講堂の建築には最も功勞のあつた平商校の恩人で退職を惜しまれてゐる

★去年の元旦は興亞奉公日の故を以て禁酒デーに終り屠蘇嬉嫌で暴れ廻るやうな馬鹿者も見受けられなかつたが、明春は『緊張を缺かない程度で……』と一般家庭からカフエ、料理店などの享樂方面も畫酒の販賣を許し從つて酒屋さんの開業もこの日に限つて認められる模樣なので『酒は豐富』と云ふ稅務署側の報告と照し合せ、緩急宜しく取締るにはどうすればよいか？と今から頭を痛め歳末が近づいたら享樂業者を集めて『自肅の破廉を外させぬやう』と注意を促すことに成るらしい

暴力と恐喝で 飯場頭檢る

石城郡赤井村日曹常磐炭礦飯場長谷川榮(三四)は同炭礦勞務係を兼ねてゐるのを奇貨とし乾分の土工佐藤儀一(三三)坑夫小泉義雄(三四)現場員佐藤再松(二八)雜夫安田貞司(三六)其他五六名を引連れ些細の事を理由に暴力を揮い地方民を怖れしめてゐたが去る六月頃から十月迄の間に芝居の引幕を新調するからと同村大倉大澤炭礦主渡部賢治外百三十七名から殆んど强喝的に千五百圓を捲あげ僅かに三百五十圓の寡をつくつた外數回の强喝脅迫が發覺平署に檢擧取調べ中のところ近く恐喝並びに暴力行爲で一件書類と共に送局されることゝなつた

平市慶弔錄

【婚姻】平市南町六十五番地上田正隆四女文子さん(二〇)と双葉郡大久村鈴木德重(二四)が媒子線組

天氣豫報

今晩　晴れ後曇
明日　晴れ一時曇

米國向けの輸出品 大陸に變更

日水で秋刀魚の冷凍に着手

米國向きの輸出品から凡ての物資が圓ブロック向けに變更されつゝある爲從來アメリカ輸出品を主として製造してゐた日本水産小名濱冷凍工場でも方針を變へブロック向け大陸方面への進出を目論み活動を開始先づ第一に秋刀魚の冷凍に着目して今月初旬房洲から十三車(約三萬貫)のさんまを買ひ込んで冷凍事業に着手した

今後は大陸方面に好評を博してゐる鰯や飽の代用として珍重されて來た蛸などを季節的な安値を覗つて本格的に加工する計劃を進めてゐる

平商業校の 中村敎諭退職

平商業學校首席敎諭中村政氏過般米壽の祝として祝宴を催し水槽十五個の寄贈をうけた三浦與五郎氏へ常會より感謝狀を贈ることに致しました

午後八時十分其他種々御世話や明年度の事を語り合ひましたが、班長岩本氏より『輝く紀元二千六百年の佳き年に意義ある常會を設立益々東洋平和の礎が築かれて行くことに限りない喜びを感じ共に臣道實踐に邁進して新田町常會の發展を祈る』と力强い言葉に本年度第六回常會を終りました

最後に申し添へますが常會費は一ケ月最高四十錢より十錢まで徵收諧般の事業費に充て店ります。

（鈴木生記す）

社告

十三日創刊の本紙は、從來發行してゐた各新聞社の購讀並に廣告等繼承することになりました、購讀者並に廣告主各位に紙上より御諒承願ひます、尙本紙は近く四頁建十四段制に紙面を擴張實施すべく新機構の整備を急ぎつゝあり、當分の間暫定的に二頁の本紙を發行致します。

一、社屋新築
一、新式輪轉機設置
一、寫眞銅版設備
一、新鑄活字採用
一、四頁十四段制實施

磐城毎日新聞社

十三日から 防犯週間

十三日からの防犯週間に關し平署では例年通り宣傳映畫講演會ポスター等により一般の防犯思想喚起に努むる事となり目下夫々司法部に於て立案中であるが一方ポスター標語を署內一般から募集中である

濱通り第四部 演劇協會

準備會で役員決定

縣映畫演劇協會設立に伴ふ濱通り第四部の設立準備會は九日午前十一時から平署會議室に擧行三十四名の劇場主興行師出席規約の制定役員の選定を行つた

△支部長渡部平署長△副會長鈴木寅次郎(平)小野正千賀(小名濱)△評議員島田勝吉外十名

となりぐみを語る (7)

萬般『至らざる』なし

新田町隣り組(防空第十二群)(五)

前會にも消費節約實行諸實例に關し記しました通り今回も左の如く說明し夜九時散會

△國旗の揚げ方△鐵釘の錆を防ぐ方法△粉齒みがきに鹽と重曹△雨水で洗濯△古牛乳の利用法等鈴木氏より說明がありました

第六回常會

十二月一日六時成田氏宅に開催(出席二十九名)申合せ及實踐事項左の通り

一、木炭配給の事

木炭不足の折柄一般家庭に配給の不圓滑を生じつゝあるを以て出來得丈消費節約をなし隣組として相互扶助の精神を發揮し配給等の不平をなさざること、配給方法は常會世話人に一任する事に致しました

一、廢品回收(金物)の結果報告

去る十一月十五日世話人一同にて廢品回收せる金物實却代金八圓十二錢也は田町常會長內藏氏へ一任することに致しました

一、年末年始の事

年末の今日お互絕体贈答品を廢す事は無論正月の門松は質素を旨とし常會にて適當の裝飾をなす事、元旦の遙拜式は午前八時廣場に一同集合の上戰捷ゝ奉を壽き合せて一年の計は元旦にありとの心をお互ひ誓に合ふ事に致しました

一、火の元注意の事

火災季に入り益々火の元に注意をなし一般家庭の主婦や家族一同にも世話人が一戸宛訪問の上注意致しました

一、廢品回收の事

來る十一月十五日を期し常會三十二軒より金屬の回收をなすことゝし其の處分方法は世話人一任になりました

一、報告貯金現在高報告

一、經濟に關する說明

國民學ついて 防火塗裝を！

回危險に暴露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長

1、太陽無機コロイド塗料は絕大の防火力を有します
2、本品の右に出る防火塗料は他にありません
3、粘着力非常に强く木材によく密着します
4、既設家屋に自由に施工が出來ます
5、刷毛にて簡單に施工が出來ます
6、價格が低廉で經濟的です
7、塗面が汚れた時は水洗ひすると直ぐ綺麗になります
8、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました

回大量使用の御注文並に團体的御申込へは實驗の御希望に應じます

特賣許 太陽無機コロイド販賣店 山田文一商店（平市仲町通り 電話二六二番）

カタログ進呈

移轉お知らせ

弊店、今般三丁目中央通り（マルトモ食堂前）に移轉從前通り營業仕り候間倍舊のお引立と御愛顧を御願申上候

平市三丁目中央通り（マルトモ食堂前）

岡萬年筆專門店

久

和洋銅鐵、金物問屋

釜屋商店

電九・九九

食事。喫茶。酒場を兼ねた。

レストラン ヤロン

營業時間 開店…午前十時 御食事は午前十一時より、閉店…午後十一時限り、

平市銀座街 電話五九二番

貸家、公債、金融 多田井質店

平市大工町 電話五九一番